

「Lines of Sight ～それぞれのアジアへの視線～」

● PFWトップページ ● NPIトップページ

Title: 「波にのって」



大佐 彩子
1985年、京都生まれ
初めての長旅、出会
った全ての方に感謝
し成長して帰って来
ます。
癒せて帰って来れた
らなおよし！

● 最近のエントリー

- ☐ [Go to KL](#)
(2008.08.26)
- ☐ [Wall](#)
(2008.08.04)
- ☐ [Man Zhou Li 2](#)
(2008.08.03)
- ☐ [Man Zhou Li 1](#)
(2008.08.02)

● アーカイブ

- ☐ [2010年07月](#)
- ☐ [2008年10月](#)
- ☐ [2008年09月](#)
- ☐ [2008年08月](#)
- ☐ [2008年07月](#)
- ☐ [2008年06月](#)
- ☐ [2008年05月](#)
- ☐ [2008年04月](#)
- ☐ [2008年03月](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

RSS 2.0

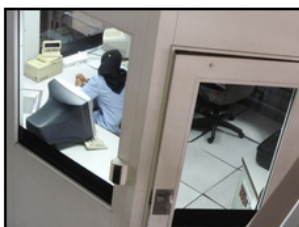
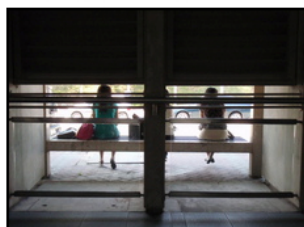
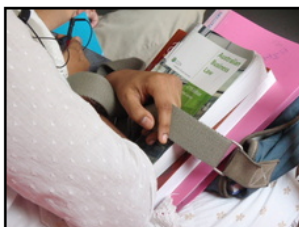
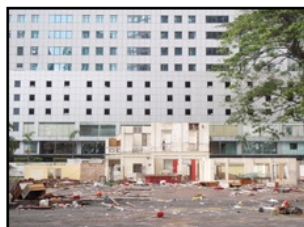
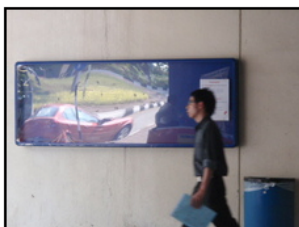
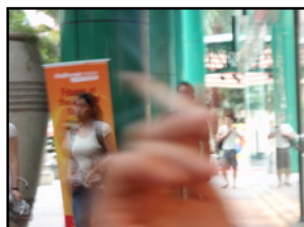
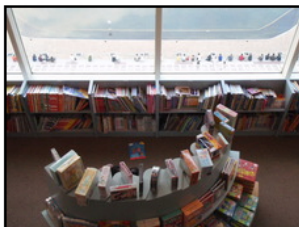
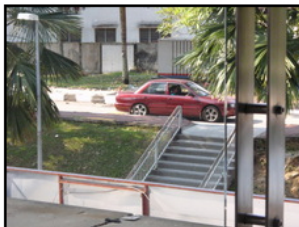
波にのって > 2008年08月 アーカイブ

08.08.26

Go to KL

[Tweet](#)

[Check](#)



カテゴリ:

post by 大佐 彩子 | 日時: 2008.08.26 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

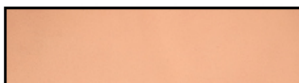
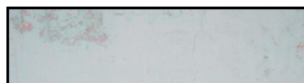
波にのって > 2008年08月 アーカイブ

08.08.04

Wall

[Tweet](#)

[Check](#)





おもいきり飛び込んでいい時。

おもいきり飛び込まなきゃいけない時。

飛び込まなきゃ見えないものがある。

Never give up!

憶病風は吹き飛ばして。

そしてこの旅になくてはならない、

壁。



カテゴリ：

post by 大佐 彩子 | 日時: 2008.08.04 | [バナーリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[波にのって](#) > 2008年08月 アーカイブ

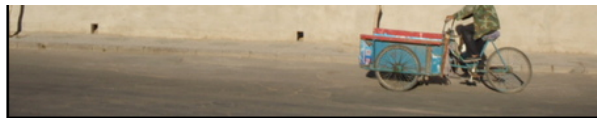
08.08.03

Man Zhou Li 2

[Tweet](#)

[Check](#)







正直言って今までで今が一番苦しい。
ここにきて九割五分の確率で断れ、一日一人撮れるか撮れないかだ。
暑いし、三脚は重いし一日何回右に左に掛け直してるのか。
休憩してはだんだんと重くなる腰を挙げ、ひたすら被写体を捜して歩く。
これ程までに中国人になりたいと思うことはこれからあるのだろうか。
自分の意思をもっと伝えられれば、
書いた紙を払い除けられることもないのに。
もういっか。
弱気な自分とひたすら闘う。
そんな時、メンバーの書いていた言葉を思い出す。
今が踏ん張り時であって、これまでの経験の結果が現れる時。
だからこそ今の自分の結果がこれだと思おうと悔しくてしょうがない。
しかし、これが今の自分。
ここで倒れるのか、一歩進むのか。
まだ時間はある。
諦めたくない。
今日はまだ情けなくて、悔しい。

カテゴリ:

post by 大佐 彩子 | 日時: 2008.08.03 | [パーマリンク](#) | [コメント \(6\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[速にのって](#) > 2008年08月 アーカイブ

08.08.02

Man Zhou Li 1

[Tweet](#)

[Check](#)



北京から2時間10分、満州里に。



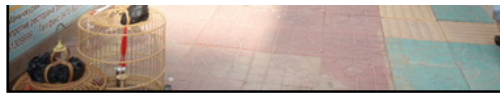
烏魯木齊(ウルムチ)に行けなくなって、スクーリング中に急遽決めた満州里。情報不足もあり想像していた街とは全く違いました。





ロシアとの国境の街なのでロシア語の文字が目立ちます。
建物もかなり西洋的で、ロシア人も多い。
冬は平均気温マイナス20度以下になるらしく、
毛皮のコートがいたるところで売られています。
今は日中はからっと暑くて、夕方は少し肌寒いぐらいです。





だからといって人も変わっているのかといえば
そうでもなく、
どこへ行っても中国人は中国人でした。



カテゴリ:

post by 大佐 彩子 | 日時: 2008.08.02 | [バナーリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)